

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
106-104	高等学校	地理歴史科	地理総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
183 第一	地総 183-901	高等学校 改訂版 地理総合 世界を学び、地域をつくる		

1. 編修の基本方針

1. 地理を学ぶ意義がわかる教科書

- ・世界を広くグローバルに捉えながら、世界各地の特色ある生活文化や世界各地で見られる地球的諸課題、自然環境と防災などについて、その地域性や他地域・自然環境との結びつきといった地理的な見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察することで、現代世界に対する地理的認識を深めることができたようにした。

2. 地理の学習に主体的に取り組むことができる教科書

- ・各章のはじめに「扉」を設け、中学校で学んだ内容をふり返し、これから学習する内容を見通せるようにした。
- ・各学習項目の冒頭に問いを提示し、生徒が課題意識を持って学習に取り組むことができるようにした。本文記述は平易な表現を心がけ、また広い紙面を活かして豊富な図・写真を掲載し、これらを活用しながら問いについて考察を深め、最後に示された「まとめ」でその答えを整理する構成のもと、問いを中心とした学びを着実に進められるようにした。
- ・各章末に「学習をふりかえろう」を設け、学習内容の確認や達成度の自己評価ができるようにした。
- ・本文ページの内容をより深めた特集ページ「FILE」やコラム、雑学的な話題を扱った「地理のスパイス」を豊富に掲載し、地理に対する興味・関心が喚起されるようにした。

3. 地理的な見方・考え方が身につく教科書

- ・教科書全体を通して、「位置や分布」「場所」「人間と自然環境との相互依存関係」「空間的相互依存作用」「地域」といった地理的な見方・考え方を意識した。目次では、各章で重視されている見方・考え方を提示し、これを働かせながら学習に取り組むことができるように配慮した。
- ・本文ページの図や写真には、読み取りを促す「TRY」を設けた。各「TRY」には着目すべき地理的な見方・考え方の視点を示し、見方・考え方を意識した資料読解が実践できるようにした。

4. 地理の学習に必要な技能や思考力・判断力・表現力が身につく教科書

- ・全13か所に「ワーク」を設け、作業的かつ体験的な学習を通じて、学習に必要な地理的スキルが習得できるようにした。
- ・随所に二次元コードを配し、地理院地図をはじめとした地理情報システムやウェブの活用を促し、能動的な活動が行えるようにした。
- ・見開きの学習内容にかかわる発展的な問いの「Think!」を設け、考察をより一層深めるとともに、思考力・判断力・表現力が養われるようにした。

- ・第2編には、事例地域についての学びを深める「学習を深めよう」を全12か所に設けた。それぞれに主題を設定し、冒頭に示された問いについて、本文記述や資料、これまで学習した内容を活用しながら考察し、また話し合いなどの対話的な活動が行えるようにした。

5. 持続可能な社会の実現に向けた地理の役割がわかる教科書

- ・教科書全体を通してSDGsを重視し、持続可能な社会の構築を生徒が自分事として捉え、行動する姿勢を養えるようにした。巻頭特集や「ワーク」でSDGsを題材として取り上げたほか、第2編2章「地球的課題と国際協力」は、SDGsの17の目標と学習内容との関連性をつかみやすいよう構成した。
- ・第3編2章「生活圏の調査と地域の展望」の章末では、持続可能な観光地づくりをテーマとした「学習をふりかえろう」を通して、高校生の社会参画につながるよう配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭 水からひも解く SDGs	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な「水」を入口として、私たちの生活が世界の諸事象につながっていることに気づけるようにした(第2号)。 ・世界に見られるさまざまな地球的課題やそれに関連するSDGsの各目標を概観し、これから始まる地理の学習を通して、課題解決への糸口をイメージできるように構成した(第3号・第4号・第5号)。 	前見返し①-② 前見返し①-②
第1編 地図や地理情報システムでとらえる 現代世界 1章 球面上の世界と地図	<ul style="list-style-type: none"> ・地理学習に用いる地図は距離や面積などの要素すべてを正確に示したものではないことを理解することで、所与の条件の中で真理を求める態度を養えるよう配慮した(第1号)。 ・二次元コードから実際の地理院地図やウェブGISにアクセスできるようにし、地理情報システムの有用性を理解し、実際に活用できるようになることで、創造性と自主自律の精神を養えるよう配慮した(第2号)。 ・「ワーク」を設け、作業的かつ体験的な学習に主体的に取り組むことで、地図やGISの活用を促し、地理学習に必要な技能を習得できるようにした(第1号)。 	p.10-12 p.16-25 p.9、p.15、p.24-25
2章 国家の結びつきと グローバル化する 世界	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の領土をめぐる問題を正しく理解し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにした(第5号)。 ・国際社会にはさまざまな国家の結びつきがあることを理解し、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにした(第1号・第5号)。 ・現代社会は交通や通信などの発達によって利便性を増す反面、依然として課題があることを知り、その課題解決に向け主体的に考察する態度を養えるようにした(第1号・第3号・第5号)。 ・グローバル化がもたらす功罪を正しく把握し、国際社会の平和と発展に向けて主体的に考察する態度を養えるようにした(第1号・第3号)。 ・「ワーク」を設け、作業的かつ体験的な学習に主体的に取り組むことで地理学習に必要な技能を習得し、また対話的な学びを通じて個人の価値を尊重することや創造性を培うことができるようにした(第1号・第2号)。 	p.30-31 p.32-35 p.36-41 p.42-43 p.34-35

<p>第2編 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地の多様な生活文化の根本に地形や気候といった各地の特色ある自然環境があることを理解することで、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにした(第4号)。 ・日本や世界で見られる特色ある生活文化を衣食住や産業、宗教などの観点から大観することで、幅広い知識と教養を身につけ、現代社会に生きる上で必要な真理を求める態度を養いつつ、多様な世界における異文化理解の重要性を深く認識し、自他の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした。(第1号・第5号)。 ・衣食住や宗教などがグローバル化の中で変容していることを取り上げる中で、身近な事例を扱い、生活との関連を重視した(第2号)。 ・産業の発展は生活における利便性の向上だけでなく、雇用の拡大という面も重要であることや、地域の地理的環境に即した地場産業もグローバル化の中で新たな産業に成長することが期待されていることを学ぶ中で、職業と生活の関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにした(第2号)。 ・多様な文化や価値観などを有する人々との共生に向けて努力することの重要性を学び、自他の伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度が養えるようにした(第5号)。 ・「ワーク」を設け、作業的かつ体験的な学習に主体的に取り組むことで地理学習に必要な技能を習得し、また対話的な学びを通じて個人の価値を尊重することや創造性を培うことができたようにした(第1号・第2号)。 ・探究的な学びを促す「学習を深めよう」では、1章の学習内容に関連する主題と適切な事例地域を設定し、幅広い知識と教養を身につけ、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度が養えるようにした(第1号・第5号)。 	<p>p.46-61</p> <p>p.64-117</p> <p>p.68-69、 p.78-79、 p.84-87、 p.111</p> <p>p.90-97</p> <p>p.118-119</p> <p>p.62-63、 p.120-121</p> <p>p.86-89、 p.98-101、 p.116-117</p>
<p>2章 地球的課題と国際協力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現に向けて、貧困問題や人口問題、食料・水問題、健康・福祉問題、教育・ジェンダー問題など、世界で見られる地球的課題について理解を深め、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにした(第1号・第3号)。 ・資源・エネルギー問題や都市・居住問題の解決に向けた取り組みを学ぶ中で、技術革新や都市計画など持続可能な産業化や持続可能な都市の実現に向けた創造性を培い、自主自律の精神を養えるようにした(第2号)。 ・地球温暖化問題を題材に現役世代と将来世代のための地球環境について学習することで、他者を慮る道徳心を培い、将来に向けて自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにした(第1号・第4号)。 ・地球的課題の解決に向け、国際協力の必要性を取り上げることで、国際社会の持続可能な発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した(第5号)。 ・「ワーク」を設け、作業的かつ体験的な学習に主体的に取り組むことで地理学習に必要な技能を習得し、対話的な学びを通じて個人の価値を尊重することや創造性を培うことができたようにした(第1号・第2号)。 	<p>p.124-177</p> <p>p.146-157</p> <p>p.162-171</p> <p>p.178-183</p> <p>p.135、 p.182-183</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学びを促す「学習を深めよう」では、2章の学習内容に関連する主題と適切な事例地域を設定し、幅広い知識と教養を身につけ、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度が養えるようにした(第1号・第5号)。 	p.144-145、p.158-161、p.170-171、p.184-189
<p>第3編 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>1章 自然環境と防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の自然環境の特徴を丁寧に記述し、豊かな自然環境を有する我が国への理解と郷土を愛する心が深まるようにした(第1号・第5号)。 ・人々の生活は自然災害と密接に関連しており、その対策には普段からの心構えと備えが必要なことを示し、生命を尊びながら自然とともに生きる態度を養えるよう留意した(第2号・第4号)。 ・高校生は共助を担う存在であることを示し、地域社会などの形成に主体的に参画する態度が養われるようにした(第3号)。 ・火山噴火に臨んできた先人の知恵や伝統的な治水対策を取り上げ、自然との共生のために培われてきた我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした(第4号・第5号)。 ・「ワーク」を設け、作業的かつ体験的な学習に主体的に取り組むことで地理学習に必要な技能を習得し、対話的な学びを通じて個人の価値を尊重することや創造性を培うことができるようにした(第1号・第2号)。 	<p>p.192-197</p> <p>p.198-213</p> <p>p.214-215</p> <p>p.204-205、p.208、p.217</p> <p>p.207、p.212-213</p>
<p>2章 生活圏の調査と地域の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現に向け、身近な地域の諸課題を調べ、考察し、構想する学習を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにした(第3号)。 	p.220-229
<p>巻末 世界の国々</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界地図や二次元コードから、世界各国・地域の基本的な情報を把握できるようにした(第1号)。 	後見返し⑤-⑥
<p>3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・参照ページを丁寧に示し、編や章、節をまたいだ学習や、各学習項目を有機的に連携させた学習がスムーズに行うことができるように配慮した。 ・欧文略語のもととなったアルファベットは太字で示したほか、重要用語の英語表記を併記して、外国語科(英語)へのつながりに配慮した。 ・書体には視認性の高いユニバーサルフォントを採用し、図版や地図の作成にあたってはカラーユニバーサルデザインを用いて、色覚特性などにかかわらず読み取りやすいように配慮した。 ・広い紙面を有効に活用するため、ページの開きがよく耐久性の高いPUR製本を採用した。 ・再生紙と環境にやさしいインキを使用した。 		

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
106-104	高等学校	地理歴史科	地理総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
183 第一	地総 183-901	高等学校 改訂版 地理総合 世界を学び、地域をつくる		

1. 編修上特に意を用いた点や特色
1. 地理的な見方・考え方に基づき、主体的・対話的に学習できる教科書 <ul style="list-style-type: none">各学習項目のはじめに主題と問いを示し、学習課題を明確にした。本文記述や資料を活用しながら問いについて考察を深め、各学習項目の最後に設けた「まとめ」で問いに対する答えを整理できるように構成している。図版や写真など資料の読み取りを促す「TRY」を100か所以上に設けた。それぞれの「TRY」では、「位置や分布」「場所」「人間と自然環境との相互依存関係」「空間的相互依存作用」「地域」といった地理的な見方・考え方に基づいて問いや作業を設定し、主な視点別に色分けして表示した。これらの見方・考え方を働かせた資料読解を通じて、地理的な技能が身につくようにした。「ワーク」を全13か所に設け、地図や主題図の読図、写真の読み取りなどの作業的・体験的学習を通して、地理的スキルが習得できるようにした。また、考察したことを説明したり、他者と話し合ったりするなど、対話的な学びが実践できるよう配慮した。
2. 探究的な深い学びにつながる教科書 <ul style="list-style-type: none">各学習項目には「Think!」を設け、学習内容に関連する発展的な問いを通じて、思考力・判断力・表現力が養われるようにした。第2編には「学習を深めよう」8を全12か所に設け、それぞれに第2編の学習内容に関連する主題と適切な事例地域を設定した。冒頭の問いに対して資料を活用しながら考察を深められるように構成し、世界各地の多様な生活文化やそこで見られる地球的課題について、探究的な学びが行われるように配慮した。
3. 持続可能な社会の実現に向けた行動につながる教科書 <ul style="list-style-type: none">巻頭「水からひも解くSDGs」では、生活に欠かせない「水」を入り口として、私たちの生活が世界の出来事とつながっていることを実感できるようにした。また、世界で見られる水をめぐる地球的課題やSDGsの各目標との関連性を概観できるようにすることで、地球的課題を生徒の身近なものとして捉えられるようにした。第2編2章「地球的課題と国際協力」は、SDGsの「5つのP」の視点に沿って節を構成し、各節の冒頭で該当する17の目標を明示するなど、学習内容とSDGsとの関連性を明確にした。国際社会の抱える諸課題と、その解決に向けた取り組みを体系的に学習することができるとともに、持続可能な社会の実現に向けて「足元からの行動(Act locally)」の実践を促すように配慮した。第3編2章「生活圏の調査と地域の展望」では、「持続可能な観光地づくり」を地域調査の事例として設定し、地域調査を通じてあるべき社会の考察、構想、表現までスムーズに取り組める構成とした。

4. 防災・減災の重要性が理解できる教科書

- ・日本の自然環境の特徴を大きく変動帯と湿潤地域の観点から捉え、それに起因する地震や火山噴火、土砂災害といった各自然災害の特徴や対策を豊富な資料を用いて丁寧に解説し、日本で起こり得る自然災害への理解と防災・減災への意識が高まるように構成した。
- ・第3編1章の「ワーク」では、ハザードマップの読み取りやマイタイムラインの作成などの作業学習を通して、自然災害に対する備えを実体験できるようにした。また、二次元コードから「ハザードマップポータルサイト」など実際のウェブサイトへアクセスできるようにし、実生活に活かせるように工夫した。
- ・高校生は地域社会における共助の担い手ともなる存在であることを示し、防災活動を通して地域社会への参画に向けた第1歩を踏み出すことができるよう配慮した。

5. 地理の学習が楽しくなる教科書

- ・図版や写真などを豊富に掲載し、さまざまな資料を通して地理的事象に関する知識・教養を身につけ、また世界の地理的事象に対する興味・関心が喚起されるようにした。
- ・世界の特色ある生活文化を、自然環境や衣食住、宗教、産業など多様な観点から学習することができるようにした。歴史的背景やグローバル化による影響もふまえながら、地理的事象の幅広さと奥深さを感じられるようにした。
- ・本文ページの内容をより深めた特集ページ「FILE」やコラム、雑学的な話題を扱った「地理のスパイス」を豊富に掲載し、地理の面白さを感じられるようにした。
- ・教科書全体を通して視認性の高いユニバーサルフォントを使用し、図版はカラーユニバーサルデザインに配慮して、すべての学習者にとって使いやすい教科書となるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	A-(1)		
1章 球面上の世界と地図			5
1項 地球上の位置		p.6-7	0.5
2項 世界の時差		p.8-9	0.5
3項 世界地図の見方・使い方		p.10-13	1
4項 地図があらわす情報		p.14-15	0.5
5項 デジタル化された地図		p.16-17	0.5
6項 地理情報システムの活用		p.18-23	2
2章 国家の結びつきとグローバル化する世界	A-(1)		6
1項 国家の領域と国境		p.28-29	0.5
2項 日本の領域とさまざまな領土問題		p.30-31	0.5
3項 国家をこえた結びつき		p.32-35	1
4項 交通機関の発達と縮小する世界		p.36-37	1
5項 情報・通信で一体化する世界		p.38-39	1
6項 拡大する世界の貿易と物流		p.40-41	1
7項 グローバル化と人の移動による結びつき	p.42-43	1	

